

令和7年度 事業報告書

公益財団法人 平昭七記念財団

1、先進医学、医療の研究分野に対する助成

平鍛造株式会社の創業者である故平昭七氏が築き上げた私財を基金として、平昭七氏自身が難病を患ったこともあり、難病に苦しむ人の支えになるように難病の解明や治療法の発見などに寄与することを目的とし、当該事業を行う。

具体的には、石川県内にある公立病院及び大学病院の先端医療技術の向上発展を目的とし、患者の診断及び治療、難病の原因解明に係る研究等に有用な影響を与えると期待される医療機器の購入費用に対する助成を行った。

令和7年度実績 1件 総額 33,440,000 円

助成先	助成財産	助成財産額
石川県	高規格救急自動車 (トヨタハイメディック 4WD) 人工呼吸器、ベッドサイドモニタ	33,440,000 円

2、教育機関への教材・器具等の助成

県内の公立の学校・幼稚園及び学校法人が開設する学校・幼稚園等に対し助成・支援をすることで、今後の未来を担う青少年を健全に育成し、それを以って石川県の発展、活性化に寄与することを目的とし当該事業を行う。

具体的には、募集要項をホームページに掲載し、石川県内にある公立の学校・幼稚園及び学校法人が開設する学校・幼稚園等からの応募に対し、教育のために使用する教材、図書、運動器具、楽器等を購入し寄付する。

令和7年度実績なし

3、人手不足等解消のための設備投資に対する助成

県内の社会福祉法人等（非営利法人に限る）が開設する介護施設や障害者支援施設に対し、電動ベッド、寝たままで入浴可能な機械浴槽等の設備投資に助成をすることで、介護施設や障害者施設に勤務する職員の負担軽減に寄与し、もって勤労者の福祉の向上を目的とし当該事業を行う。

具体的には、募集要項をホームページにて掲載し、石川県内にある社会福祉法人等（非営利法人に限る）が開設する介護施設や障害者支援施設からの応募に対し、人手不足の解消等に資する設備投資の助成を行う。

令和7年度実績なし

4、就農活動・農業経営活動に対する支援

平昭七が晩年目指していた農業の振興のため、新規就農者の確保・育成、就農活動・農業経営活動に対する支援を行う。

(1) 農業に関する講習会・セミナーの開催

(2) 農業機械の無償貸出し

別紙記載の通り

令和7年度実績 トラクター購入費用の助成

・農業機械の購入及び貸出し

無人ロボットトラクターの購入（9,140,000 円）

クボタ MR1000AHQMAXWUPC3-A、補正情報機器 TOPCON

ニプロ スリップローラシーダ SR240SH10-4L

板培土 NSDB1-TBM

令和8年5月12日

公益財団法人 平昭七記念財団

代表理事 平 美都江 様

は く い 農 業 協 同 組 合

代表理事組合長 山本 好和

令和7年度 公益財団法人「平昭七記念財団」
農業機械貸出実績報告書

【期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日】

令和7年度実績につきまして、以下のとおりご報告いたします。

1. ドローン貸与実績

機械名	備考	貸与 台数	利用 日数	散布面積 (ha)
DJI MG-1	水稻基幹防除用	3	28	177.6
YAMAHA YMR-08	水稻基幹防除用	3	52	415.3
【事業概況・効果】 ・前年よりDJI MG-1は3台減少したが、2台は自前で機体更新し1台は隣接地区と共同で運用することとなり、事業効果が自主的な運用促進へ波及している。 ・JAはくいの共同防除作業への継続した参画により平均受託作業料が150万円となり、副収入として定着している。また、担い手自身で行うドローン防除モデルとしての役割も果たしている。 ・高温による農作物への病害虫の発生が年々増加しており、収量と品質への影響が懸念されている。特に水稻では斑点米カメムシの異常発生が続き、自前で防除する担い手が増加しており、着実に普及拡大している。 ・JAはくいは、担い手への委託面積増加により作業面積が減少し、職員の営農指導に充てる時間をより多く確保できるようになった。				

2. 農業機械貸出実績

機械名	仕様（用途）	貸出人数 （日数）	利用面積 （ha）
クボタトラクター35ps タッチメント等含む）（ア	SL35HCQMAEPC2WF9C （代掻機、溝堀機、畔塗機、麦施肥播種機7条）	47	52.6
クボタトラクター70ps （アタッチメント等含む）	MR70QMAXUEPC2-P （V溝直播機10条、麦施肥播種機8条）	67	89.0
クボタアグリロボトラクター 100ps（アタッチメント含む）	MR1000AH-PC-A （スリッパローラーシッター）	3	2.6
【事業概況・効果】 - 高精度作業機の導入で代掻き時の作業時間短縮と水田均平率が向上が図られ、品質・収量が改善した。 - 畦塗機の活用により環境保全型農業を推進する当地域での水田保水対策が進み、除草剤効果の向上に伴う使用回数の減少等、コストの削減効果が確認された。 - 担い手が財団機械の利便性を確認し、独自で播種機や作業機を取得している。自身の目的や規模に沿った機種を選定するための参考になり、安心して取り組んでいる。 - そば、大豆や大麦栽培に加えて水稻のV溝直播栽培を取り入れ、経営面積拡大に対応する技術の普及と低コスト化が進んでいる。 - 新たなスマート農業機械（ロボトラ）による新技術とする初冬直播・早春直播栽培の取り組みにも期待が大きく、更なる作業効率の向上が図られた。7年度は実演会を実施し、参加者の中から若手を中心に8年度は2～3名の新規取組者を予定している。			

丸山管理機	KBSA-650CE （V溝直播除草剤散布）	73	89.3
【事業概況・効果】 - 乾田V溝直播の作期分散や省力化が認知された効果の表れとして利用人数・面積が増加傾向にあり、取り組みが着実に普及拡大している。 - 秋冬大根の除草対策にも活用されるなど、汎用性が高く複合経営の安定化に向けた幅広い活用方法の検討が進んでいる。			

atexラジコン草刈機	RJ700 （農地および畦畔）	4	1.0
【事業概況・効果】 - 傾斜地や立ち作業が困難な場所での人力草刈りは危険と隣り合わせであるため、当機により遠隔で安全に作業できるようになった。 - 炎天下の除草作業も身体を酷使することなく、スピーディーな作業で効率が上がった。			

機械名	仕様（用途）	貸出人数 （日数）	利用面積 （ha）
汎用コンバイン120ps		11	17.0
【事業概況・効果】 ・大麦跡のそばの収穫作業が時間短縮で効率化され大区画の収穫作業が迅速になった。 ・そばの作付け面積は前年並みであったが、高温や長雨の影響が大きく響いたことで、収穫に至らなかった圃場が散見され、実績が減少した。9年度の国の交付金は面積換算から収穫量ベースに見直されるため、栽培管理を徹底し増収を図る。			

コマツ ブルドーザー	D21PL-8E0 (水田および畑地整地)	39	9.7
【事業概況・効果】 ・継続的に水田の高低差を解消し、肥料・薬剤の効果を高めることで増収につながった。 ・比較的高低差の少ない圃場の畔倒しを行い、2圃場を1圃場にすることで生産性の向上が図れた。 ・水田園芸作物の圃場準備に必要な波板張りとして活用できた。今後も多様な活用方法を検討する。 ・V溝・湛水直播栽培用の均平作業により、苗立ちにムラがなく収量の安定化に貢献している。 ・県の補助事業を活用し、一部の利用者は自己負担ゼロで施工を行い定着している。また、担い手が農閑期に整地作業のオペレーターとして副収入を得ている。			

3. 農業セミナー開催

「宝達志水町 高下町長による農政セミナー」			
(1) 開催日時	令和7年7月9日（水）	18：00～19：00	
(2) 参 加 者	43名		
【内訳】	担い手 24名	(来賓) 宝達志水町	1名（高下町長）
	財 団 6名	クボタアグリサービス	1名
		J A 役職員	11名
(3) 内 容			
	①町の農業政策について		
	②農水省勤務の経験から将来の日本農業の方向性について		
	③コメ価格の高騰要因と今後の政策について		